

商店街近代化事業の一環として歩道のカラー化・街路灯・植栽・農業用水を利用した人工の「せせらぎ」など地域の活性化を目指し、市民の憩いの広場となるよう工夫されている。



中込の町は千曲川の上流、長野県佐久市のほぼ中央に位置する。市では昭和四八年より中込駅前一帯

約三〇ヘクタールを区画整理し、併せて商店街近代化事業を実施したが、その核として、行政と住民のアイデアに



データボード⑦④

- ① 長野県佐久市中込橋場
- ② 佐久市役所 ☎0267-62-6254
- ③ 延長412m、幅員18m
- ④ カラー平板ブロック舗装および植栽等
- ⑤ 桜まつり、佐久鯉まつり、七夕まつり、お盆、収穫祭

より生まれたのが「中込グリーンモール」と呼ばれる歩行者専用道である。この道路は延長四二メートル、幅員一八メートルで、駅前からT字形に延び、カラー舗装され、両側五メートルずつは歩行帯、中央部八メートルは緑地帯となっている。この緑地帯には街路灯をはじめ散水栓、植栽および各種共同施設が配され、市民の散策や買物、コミュニケーションの場となるよう整備されている。

モールの約半分は、農業用水を分水して中央部に人工の「せせらぎ」を作り、名産の佐久ゴイを放流するなど憩いの広場となっている。また、各種イベントの開催の場としても利用されており、日常の維持管理は地元商店会が行っている。